

交付対象事業名称
産官学連携による地域課題解消を推進する事業

交付対象事業の概要
1.連携を図る企業とマッチングする事業 (1)地方では不足している多様な業種との連携を図るため、地域課題解消に興味のある企業を集めて自治体とマッチングする民間企業主催のイベントへ出展。 2. 学生による地域課題解消アイデアソン事業 (1)アイデアソンイベント 県内外の中高生を対象とした合宿型のアイデアソンを実施。 (2)アイデアチャレンジロールモデル構築事業 学生アイデアを基にして、企業と連携した社会実験を実施。 3.スタートアップ等企業DX促進ハッカソン事業 (1)DXによる地域課題の効率的な解消方法の提案をスタートアップ等の企業から募集し、社会実験を実施。 4.野生鳥獣食肉処理加工施設整備事業（ソフト事業分） (1)食肉加工施設整備設計を実施。

交付対象事業経費（令和7年度事業分）		9,290千円
交付金充当額（交付決定額・実績額）		4,605千円
■ソフト事業		9,290千円
1	連携を図る企業とマッチングする事業 (1)出展料 1,540千円 （内訳）オンライン出展 660千円 リアル出展 880千円 市が出展負担金を支出。	1,540千円
2	学生による地域課題解消アイデアソン事業 (1)イベント運営管理事業業務費 3,780千円 （内訳）イベント業務委託料 3,709千円 需用費 68千円 役務費 3千円 (2)アイデアチャレンジロールモデル構築事業業務費 1,000千円 （内訳）社会実証委託料 1,000千円 市が安芸高田市新しい地方経済・生活環境創生推進事業実行委員会に事業実施に係る補助金を交付。	4,780千円
3	スタートアップ等企業DX促進ハッカソン事業 0円 (1)イベント運営管理事業業務委託費 0円	0千円
4	野生鳥獣食肉処理加工施設整備事業（ソフト事業分） (1)新設する野生鳥獣食肉処理加工施設の設計業務費 2,970千円 （内訳）食肉加工施設新築工事基本設計業務委託料 2,970千円 市が委託料を支出。	2,970千円

重要業績評価指標（KPI）		
①社会増減数 （単位：人）	KPI	令和7年度
	目標値	30
②包括連携協定 （単位：件）	実績値（増加分）	15
	目標値	5
③市公式LINEの登録人数 （単位：人）	実績値（増加分）	0
	目標値	500
	実績値（増加分）	1,307
	目標値	

事業効果の評価及び検証
2025年度は、アイデアソンイベント事業を通して地域課題となっている有害鳥獣を資源と捉え直した新たな特産品が誕生し、堅調な売れ行きを見せており、地域課題のひとつの解決策を具体化できた。また、特産品の開発過程自体が事業者同士の接点となり、地場産業を支える地元企業と市外から進出した企業との連携を生み出すことができた。マッチング企業との商談やイベント開催に際して、市公式LINEの登録を促すことで、登録者数の増加を達成し、地域と市民、交流人口や関係人口との重要なコミュニケーションツールとして、情報発信力を高めることができた。 KPI①について、若者や学生の流入という形で効果が出るには時間がかかるため、目標達成に至らなかった。KPI②について、企業4社の連携により、学生のアイデアを社会実装したが、包括連携協定の締結は行わない形で実施したため、目標達成に至らなかった。

今後の方針
2025年度は、アイデアソンの実施時期が12月末となったが、次年度以降は、学生の夏休み時期にイベントを実施し、企業連携による提案の地元実装の期間をより長くとり、企業進出の機会を図るよう取り組む。 スタートアップ等企業DX促進ハッカソン事業について、当初リアルイベントを開催する予定としていたが、より多くのマッチング企業が参画しやすくなることを目指し、オンラインで実施することでイベント運営管理事業業務委託費が不用となった。次年度以降は、アイデアチャレンジロールモデル構築事業へマッチング企業が参画する形をとることにより、スタートアップ企業と地元企業の連携を促すとともに、市外企業の地域進出の機会を創出する。 KPI②については、官民連携として事業の推進にあたり、共にプロダクトの開発を行う企業等の数で本事業規模を定量的に計測することが適切であるため、評価指標を包括連携協定の数から連携企業等の数に変更する。